

2009年3月期 第1四半期決算概要



NIPPON PAPER
GROUP

2008年 8月 4日

株式会社日本製紙グループ本社



2009年3月期 第1四半期(2009/3/1Q) 決算

(2008年4月1日～2008年6月30日)

- (1) 業界動向 *3-5pp*
- (2) グループ トピックス *6p*
- (3) 連結業績 *7-11pp*
- (4) 連結業績見通し *12p*

(2008年4月1日～2009年3月31日)

● (1) 業界動向①国内出荷高



紙パ業界

2008年4月－2008年6月品種別国内出荷高

	国内出荷高(千トン)	前年比
新聞巻取紙	868	▲2.5%
非塗工印刷用紙	594	▲4.1%
塗工印刷用紙 ※	1,669	5.4%
情報用紙	431	3.4%
その他の紙 (包装・衛生・ 雑種紙等)	987	▲2.6%
紙計	4,550	0.6%
板紙計	2,947	▲0.6%
紙・板紙計	7,497	0.1%

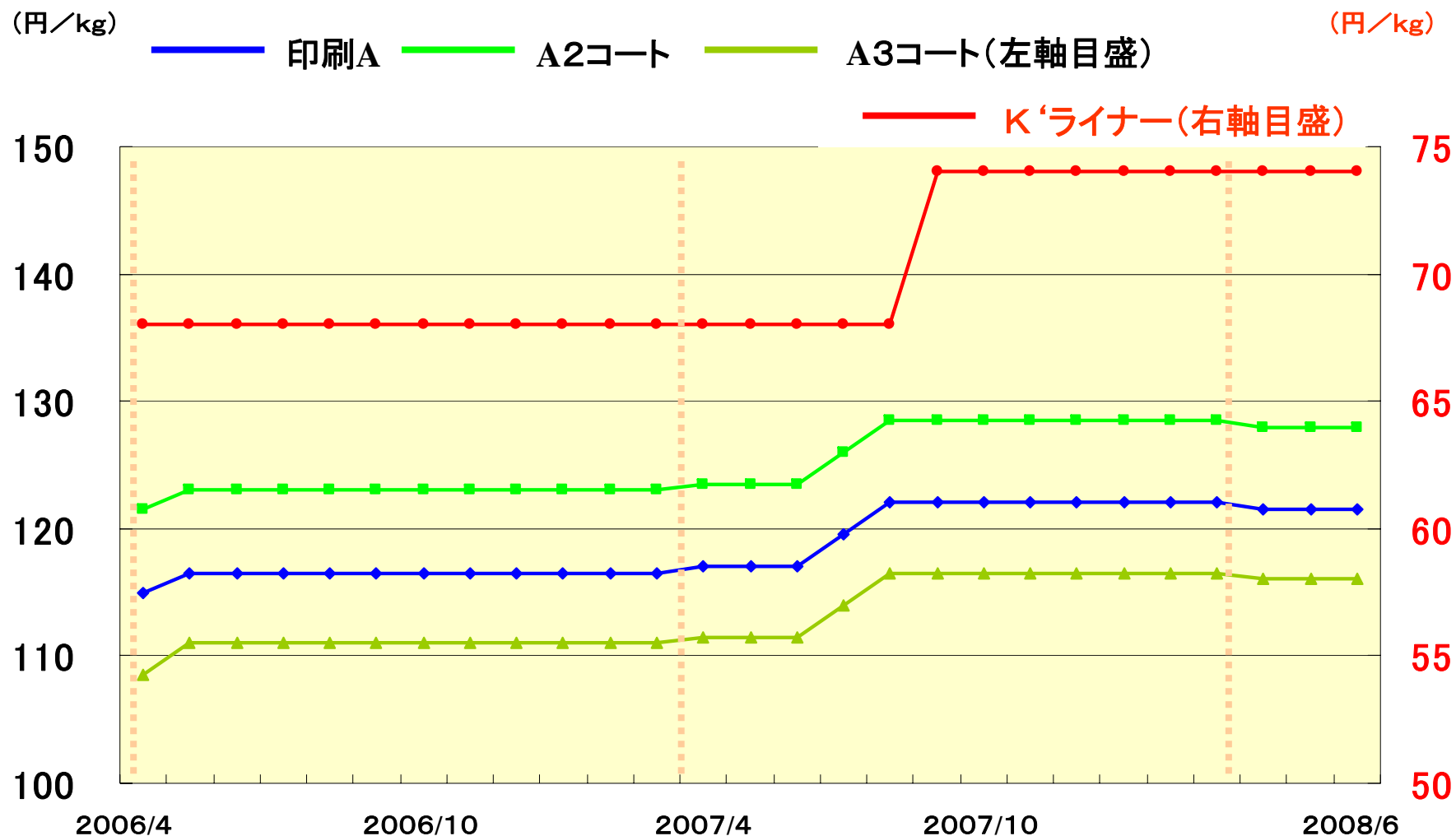
※ 塗工印刷には微塗工紙を含む。 出所：日本製紙連合会

All Rights Reserved, Copyright (C) 2008 Nippon Paper Group, Inc.

●(1) 業界動向② 売価推移

紙パ業界

洋紙・板紙の価格動向(2006年4月~2008年6月)



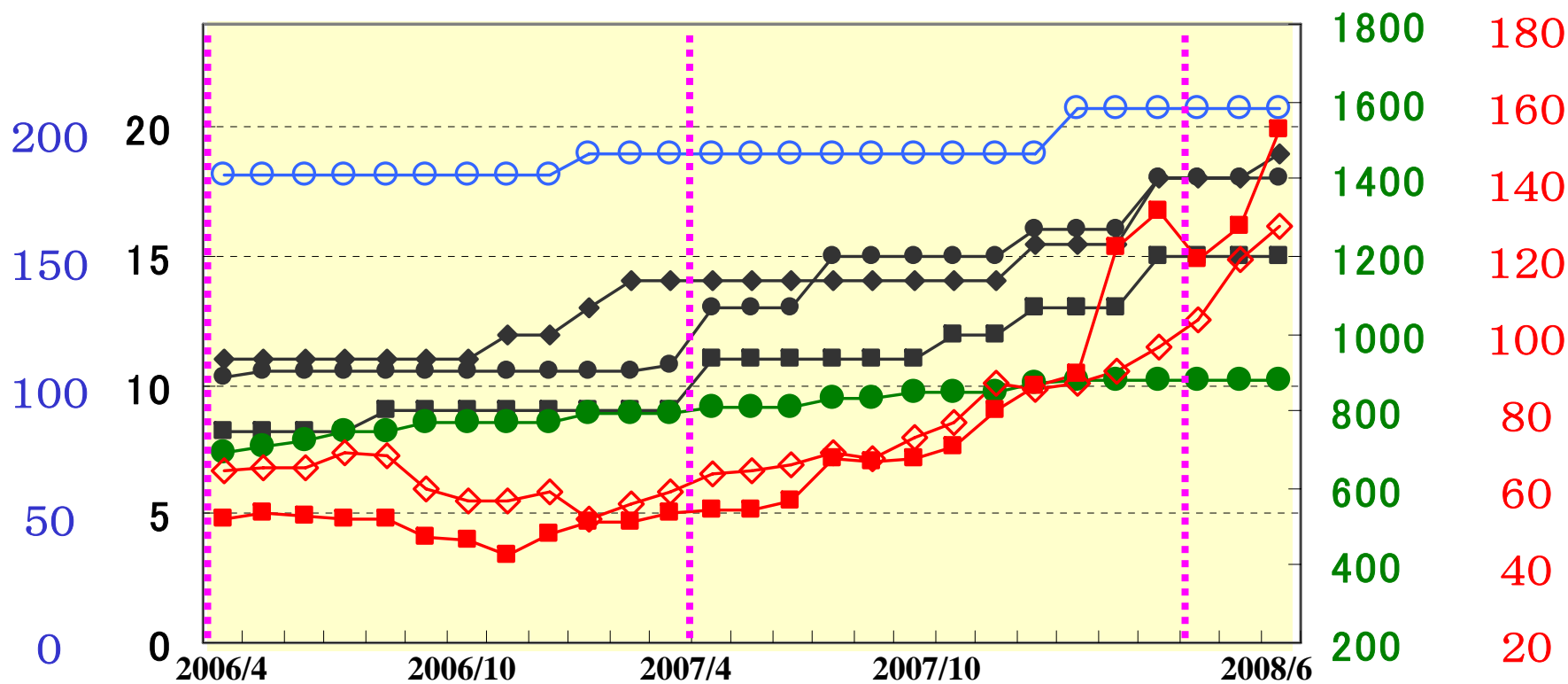
(1) 業界動向 ③ 原材料市況推移



紙パ業界

主要原燃料の価格動向 (2006年4月~2008年6月)

チップ (AU\$/BDT) **古紙 (¥/kg)** ◆ 新聞古紙 ● 段古紙 ■ 雑誌古紙 ○ 豪州ユーカ
 ● 北部NBKP ◇ ドバイ原油 ■ 石炭 **パルプ (US\$/t)** **原油 (US\$/BL)** **石炭 (US\$/t)**



出所: 古紙再生促進センター、Pulp&Paper Week、
 原油=Platts、石炭=Barlow Jonker Index

●(2)グループトピックス

第1四半期のトピックス

- 2008年4月：グループ事業再編
- ・日本大昭和板紙(株)と生産子会社4社が合併
 - ・日本製紙クレシア(株)を持株会社の直接子会社化
 - ・特殊紙事業会社「日本製紙パピリア(株)」発足
- ：価格修正発表 印刷・情報用紙、包装用紙（15%以上）
高級板紙（10%以上）
- ：バイオマスエタノール製造に関するフィージビリティ調査開始
（日本製紙ケミカル、コスモ石油）
- ：第三者機関による古紙パルプ配合率管理システムの監査実施
- 5月：株式の分割ならびに単元株制度の採用を発表
- ：「環境行動計画（グリーンアクションプラン2010）」
地球温暖化対策における目標を上方修正
- 6月：価格修正発表 段ボール原紙（10円/kg以上）
チップボール、紙管原紙、石膏ボード原紙（15%以上）
コート白ボール（15%以上）
特殊板紙（10%以上）
- ：新社長就任

●(3)連結業績①概要



連結業績

(億円)	2008/3月期 第1四半期	2009/3月期 第1四半期	差異
<売上高>	2,952	3,112	160
<営業利益>	66	52	▲14
<経常利益>	74	64	▲10
<四半期純利益>	24	14	▲10

●(3) 連結業績②洋紙・板紙販売実績

(千トン)	2008/3/1Q (A)	2009/3/1Q (B)	前年比 (B) ÷ (A)
新聞用紙	324	312	▲3.7%
非塗工紙	184	171	▲7.3%
塗工紙	510	553	8.4%
情報用紙	193	189	▲2.1%
包装・雑種紙他	144	134	▲7.0%
国内洋紙計	1,355	1,359	0.3%
洋紙輸出(新聞用紙含む)	113	117	4.1%
洋紙合計	1,468	1,476	0.6%
段ボール原紙	338	329	▲2.7%
紙器用板紙他	95	94	▲0.7%
国内板紙計	433	423	▲2.2%
板紙輸出	10	10	6.8%
板紙合計	442	433	▲2.0%
紙・板紙合計	1,910	1,909	▲0.0%

●(3) 連結業績③セグメント別業績



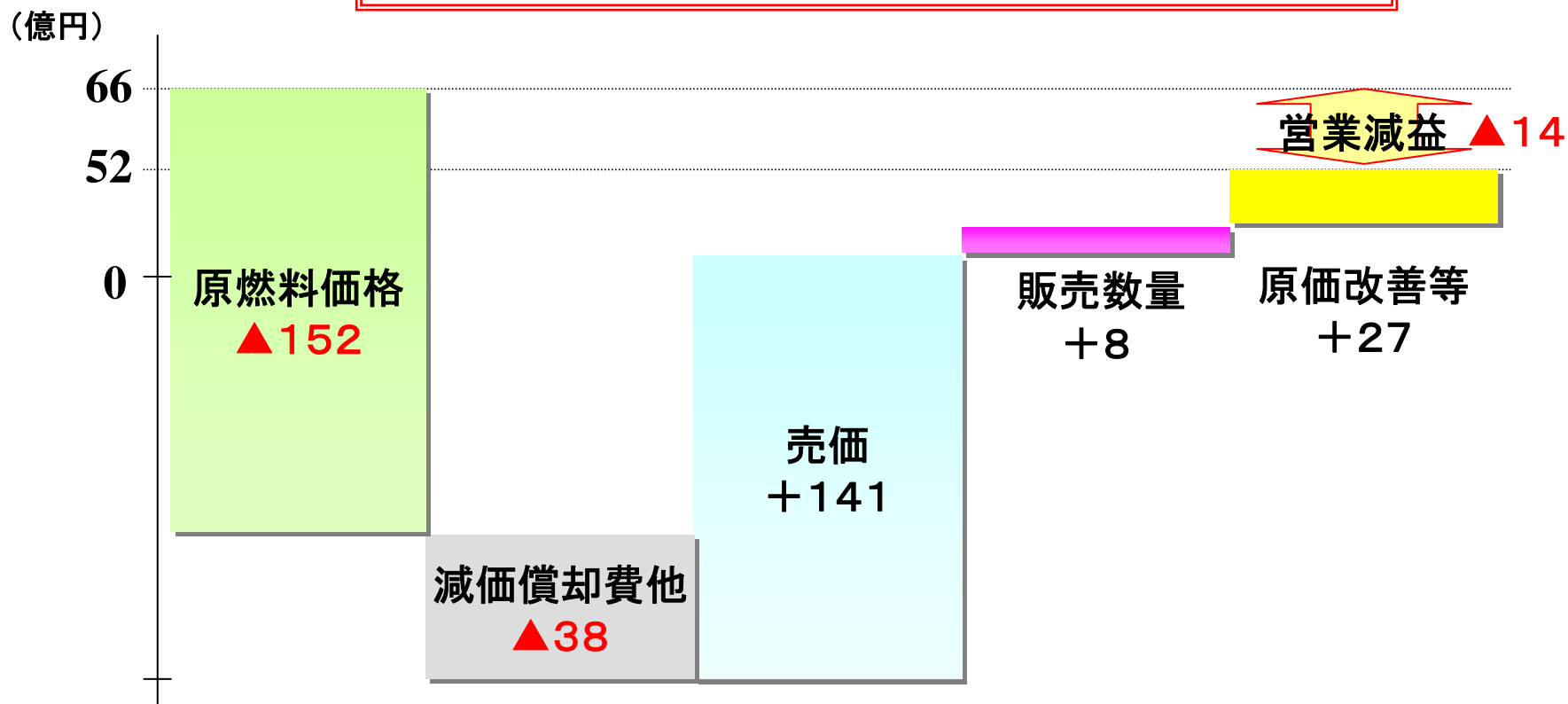
(億円)

	売上高			営業利益			コメント(前年比較)
	2008/3 1Q	2009/3 1Q	増減	2008/3 1Q	2009/3 1Q	増減	
紙パルプ事業	2,257	2,489	232	35	34	▲ 1	値上げ、事業再編(マンツネ、三島製紙)等により増収 洋紙・板紙:原燃料価格上昇により減益 家庭紙 :値上効果により増益
紙関連事業 (紙容器、化成品等)	252	247	▲ 6	11	10	▲ 2	
木材・建材・土木 関連事業	226	193	▲ 33	6	3	▲ 3	
その他の事業 (飲料、物流等)	216	183	▲ 33	13	5	▲ 8	四国コココーラ会計期間変更影響
合計	2,952	3,112	160	66	52	▲ 14	

●(3)連結業績④営業利益増減益要因

2008/3/1Q実績 対 2009/3/1Q実績比較

営業利益減益 ▲14億円 (66億円 → 52億円)
 経常利益減益 ▲10億円 (74億円 → 64億円)



●(3)連結業績⑤貸借対照表



(億円)

貸借対照表

	'08/3末	'08/6末	差異	コメント
現預金	178	167	▲ 10	
受取手形・売掛金	2,627	2,966	339	
棚卸資産	1,654	1,788	134	
その他流動資産	399	463	63	
有形・無形固定資産	9,192	9,175	▲ 17	設備投資166億、減価償却▲200億 既存リース資産59億 除却・売却▲41他
投資その他資産	2,206	2,118	▲ 88	
資産計	16,256	16,677	422	
有利子負債	7,853	8,603	750	
その他負債	3,605	3,358	▲ 247	
純資産	4,798	4,716	▲ 81	為替換算調整勘定▲82億、配当金▲45億、 四半期純利益14億、その他有価証券評価差額 金34億増 他

● (4) 連結業績見通し

2009年3月期の業績見通しにつきましては
2008年4月28日発表数値から変更ありません

(億円)	第2四半期累計見通し	通期見通し	(参考) 2008/3月期 通期実績
<売上高>	6,300	12,900	12,117
<営業利益>	130	430	328
<経常利益>	120	390	328
<当期純利益>	20	160	57

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
また当資料の無断掲載はこれを禁じます。

(株)日本製紙グループ本社